

平成 23 年 9 月 14 日

## 病院内部検討会（病院長連絡会）の検討結果について（報告）

加賀市医療提供体制基本構想の策定にあたり、平成 23 年 2 月より加賀市民病院、山中温泉医療センターの両病院の病院長等により、病院長連絡会を開催し、現段階での議論の状況を報告する。（基本構想に反映させるための施設・設備面を中心に）

## 1. 統合新病院の理念（mission）について

加賀市全体の医療体制のなかで統合新病院が担うべきものは、地域住民に対する標準的治療、二次救急医療、既存の医療機関と連携したうえでの 4 事業である。

高度医療については三次医療機関、初期医療については診療所、慢性期医療については療養病床を有する病院や介護サービス事業所との連携により対応する。

- 当たり前の病気を当たり前に治す標準的治療を提供する。
- 二次救急医療を完結する。
- 医療人を教育、養成する。

## 《参考》

## 加賀市民病院案

## ◎基本理念

「地域住民とともに考える医療を実践します」

私たちは地域住民の健康増進のため、他の医療機関や保健福祉分野と力を併せ、地域基幹病院として、当地域の医療を担うと共に、さらに高度な医療に対応できるよう努力します。

## ◎基本方針

1. 医療の質向上に努め、信頼される医療を提供します。
1. 医療・保健・福祉の連携を推進し、効率的な医療サービスを提供します。
1. 全ての人に優しさと怒（おもいやり）を提供します。
1. 十分な説明のもと信頼関係を深め、安心の医療を提供します。
1. 常に自己研鑽を推進し、良き医療人の育成に努めます。

## 山中温泉医療センター案

## 『理念』

やすらぎ

## 『基本方針』

加賀市の保健・医療・福祉・教育について

- 1 自ら求め共に深めましょう
- 2 公と民との協働を目指します
- 3 変化への対応に努めます

## 2. 統合新病院の病床について

### (1) 一般病床の病床数について

- ・市民が安心して治療を受けることができる病院とは、新しい医療機器と多くの医師が勤務する規模の大きな病院（少なくとも 300 床）必要。
- ・現状の医師数や患者数から考えると 250 床から 270 床程度が適当であり、350 床規模では継続的なスタッフの確保が懸念される。
- ・しかしながら、医師確保の面からは、350 床以上の規模があることで、医師が勤務したい病院としてのアピールとなる。
- ・一度病床数を削減してしまうと、将来の増床が困難であるため、将来を見据えて病床数を決定すべき。

### (2) 療養病床について

- ・統合新病院は、急性期患者を対象とした 2 次救急病院として整備するものであるため、急性期の治療が終了した患者は、民間の療養病床を有する病院への転院や介護サービスとの連携により対応し、統合病院では療養病床を整備しないことが望ましい。
- ・しかしながら現状では、療養病床を有する病院や介護サービス事業者との連携が十分とはいえず、急性期の治療が終了した患者が急性期病院から退院できない状況が見受けられる。
- ・そのため、統合までに療養病床を有する病院や介護サービス事業者との連携を強化し、治療後に切れ目のなく連携できる体制構築が必須である。

### (3) 緩和ケア病棟について

がん連携病院として、緩和ケア病床を 10 床～20 床程度設置する。

### (4) 開放型病床について

- ・診療所との連携のため、開放型病床を整備することが望ましい。一部では主治医 2 人制などの対応も行っている。
- ・しかしながら、開放型病床の活用については、診療所の医師の意向による部分が大きいいため、必要なニーズを把握した上で決定すべき。

## 3. 統合新病院等の周辺・併施設等について

### (1) 健診センター

健診の充実を図り、専用に、健診センターを置き、可能であれば常勤医を確保する。健診数も増やし、人間ドックの充実をはかる。検査も、必要部門を増加する。

(2) 研修センター（研修室・会議室）

市民や医療保健福祉に関わる関係者が共に学びあうための場として、ある程度の数と広さをもつ講義室、会議室を併設することが、地域医療を守ることの市民啓発の取組みに有効と考えられる。

(3) 医師会との連携の場

医師会員の集える場（医師会事務所等）を併設することで、診療所との連携強化が図られると考えられる。

(4) 保健センター、地域包括支援センター、社会福祉協議会

保健センター、地域包括支援センター、社会福祉協議会を併設し、公的機関の保健師、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー等の専門職を集約し、地域医療連携室と一体的な取組みを行うことで、保健医療福祉の連携強化及び地域包括ケアの推進が図られると考えられる。

(5) リハビリ施設

民間によるトレーニング施設（フィットネスクラブ等）や野外リハビリ用スペースのある公園など

(6) 病児病後児保育等

現在2病院で実施している病児病後児保育等は統合新病院でも継続すべき。

#### 4. 検討経過

第1回会議（平成23年2月22日） 加賀市民病院講堂

- ・医療提供体制基本構想の策定について（フリートーキング）

第2回会議（平成23年3月22日） 山中温泉医療センター会議室

- ・職員からの意見聴取及びフィードバックについて
- ・専門部会の構成について

第3回会議（平成23年4月26日） 加賀市民病院会議室

- ・女性アドバイザー一部会の委員について
- ・医療提供体制基本構想の策定について

第4回会議（平成23年5月24日） 山中温泉医療センター会議室

- ・統合新病院への具体的提案について

第5回会議（平成23年6月29日） 加賀市民病院会議室

- ・統合新病院の理念について
- ・療養病床について
- ・開放型病床について
- ・医師確保について

第6回会議（平成23年7月26日） 山中温泉医療センター一会議室

- ・地域包括ケアについて

第7回会議（平成23年8月23日） 加賀市民病院講堂

- ・統合新病院の理念について